

## 先週のポイント

特別勘定運用部  
2020年6月8日

米国における雇用環境の改善が示唆され、米国経済が早期に回復するとの見方が広がり、先週の株式市場は上昇した。為替市場では、米中対立の激化や米国内のデモ拡大を受けて、一時107円前半まで円高ドル安となるも、外出規制緩和に伴う世界的な経済回復への期待感や米国雇用統計の予想外の改善を受けて、週末にかけて109円台後半まで円安ドル高が進んだ。

|                  | 2020年3月末 | 4月30日  | 5月29日  | 6月5日   | (年度始～)<br>2020年3月末比 | 4月30日比 | (前週末～)<br>5月29日比 |
|------------------|----------|--------|--------|--------|---------------------|--------|------------------|
| 日経平均株価(円)        | 18,917   | 20,193 | 21,877 | 22,863 | 20.9%               | 13.2%  | 4.5%             |
| TOPIX(ポイント)      | 1,403    | 1,464  | 1,563  | 1,612  | 14.9%               | 10.1%  | 3.1%             |
| NYダウ(ドル)         | 21,917   | 24,345 | 25,383 | 27,110 | 23.7%               | 11.4%  | 6.8%             |
| S&P 500(ポイント)    | 2,584    | 2,912  | 3,044  | 3,193  | 23.6%               | 9.7%   | 4.9%             |
| ナスダック総合指数(ポイント)  | 7,700    | 8,889  | 9,489  | 9,814  | 27.5%               | 10.4%  | 3.4%             |
| ユーロストックス(ポイント)   | 303      | 322    | 337    | 368    | 21.7%               | 14.5%  | 9.3%             |
| 上海総合指数(ポイント)     | 2,750    | 2,860  | 2,852  | 2,930  | 6.6%                | 2.5%   | 2.8%             |
| 円/ドル(円)          | 107.54   | 107.18 | 107.83 | 109.59 | 1.9%                | 2.2%   | 1.6%             |
| 円/ユーロ(円)         | 118.64   | 117.42 | 119.77 | 123.71 | 4.3%                | 5.4%   | 3.3%             |
| ドル/ユーロ(ドル)       | 1.1032   | 1.0955 | 1.1107 | 1.1288 | 2.3%                | 3.0%   | 1.6%             |
| WTI 原油先物(ドル/バレル) | 20.48    | 18.84  | 35.49  | 39.55  | 93.1%               | 109.9% | 11.4%            |

\*金利は変化幅

|              |       |       |       |       |       |       |       |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 日本10年国債(%)   | 0.02  | -0.03 | 0.01  | 0.05  | 0.03  | 0.08  | 0.05  |
| 米国10年国債(%)   | 0.67  | 0.64  | 0.65  | 0.90  | 0.23  | 0.26  | 0.24  |
| ドイツ10年国債(%)  | -0.47 | -0.59 | -0.45 | -0.28 | 0.19  | 0.31  | 0.17  |
| イタリア10年国債(%) | 1.52  | 1.76  | 1.48  | 1.41  | -0.11 | -0.35 | -0.06 |
| スペイン10年国債(%) | 0.68  | 0.72  | 0.56  | 0.56  | -0.12 | -0.17 | 0.00  |

\*市場が休日の場合は前営業日の数値を記載しています。

(出所)Bloomberg

## 先週の市場動向(内外株式)

## 国内株式 上昇

前週に大幅高となった流れを引き継ぎ上値を伸ばす展開。週前半は米中対立や人種問題を巡る抗議デモの激化が懸念されるも、経済活動再開による景気回復への期待がこれらの懸念を上回った。また米経済指標の改善や円安基調、ECBの追加緩和策が支えとなり、週間では986円の上昇となった。

## 東証33業種別騰落率

|      |           |       |
|------|-----------|-------|
| (上位) | 1 空運業     | 9.4%  |
|      | 2 鉄鋼      | 8.5%  |
|      | 3 証券業等    | 6.2%  |
|      | 4 輸送用機器   | 6.1%  |
|      | 5 機械      | 5.9%  |
| (下位) | 1 医薬品     | -2.5% |
|      | 2 電気・ガス業  | -0.2% |
|      | 3 パルプ・紙   | 0.1%  |
|      | 4 水産・農林業  | 0.4%  |
|      | 5 石油・石炭製品 | 0.6%  |

(出所)Bloomberg

## 外国株式 上昇

(米国)白人警官による黒人暴行致死事件への反発激化が懸念されるも、週末の雇用統計が市場予想を上回ったことなどから上昇。  
(中国)米中間の緊張の後退に加え、製造業PMIの改善や政府支援策による景気回復への期待から上昇し、約3か月ぶりの高値を付けた。

## S&amp;P500業種別騰落率

|      |                 |       |
|------|-----------------|-------|
| (上位) | 1 エネルギー         | 15.4% |
|      | 2 金融            | 12.2% |
|      | 3 資本財・サービス      | 10.5% |
|      | 4 素材            | 7.6%  |
|      | 5 不動産           | 7.1%  |
| (下位) | 1 ヘルスケア         | 0.2%  |
|      | 2 生活必需品         | 1.9%  |
|      | 3 公益事業          | 2.4%  |
|      | 4 コミュニケーションサービス | 2.4%  |
|      | 5 情報技術          | 3.6%  |

(出所)Bloomberg

## 日経平均株価



(出所)Bloomberg

## NYダウ



(出所)Bloomberg

## ユーロストックス



(出所)Bloomberg

## 上海総合



(出所)Bloomberg

## 先週の市場動向(内外金利、為替、経済指標)

### 国内金利 金利上昇

新型コロナウイルス感染拡大の影響で悪化した景気の底打ち期待感を背景としたリスク選好の動きに加えて、30年債入札の結果が低調と受け止められたことや、日銀買い入れオペの結果が弱かったことなどを受けて金利は上昇。

### 米国金利 金利上昇

予想より強い経済指標から景気回復期待が高まったことやECBの緩和拡大等を背景に金利は上昇。週後半は強い雇用統計を受けて、更に0.9%台まで大幅に上昇した。

### 為替 円安ドル高

週初、中国が米国からの大豆輸入の一部を停止するとの報道から米中の対立懸念が強まり円高に振れる場面もあったが、その後は株式市場の堅調推移や米雇用統計が市場予想を上回ったことから、109円台半はまで円安ドル高が進んだ。

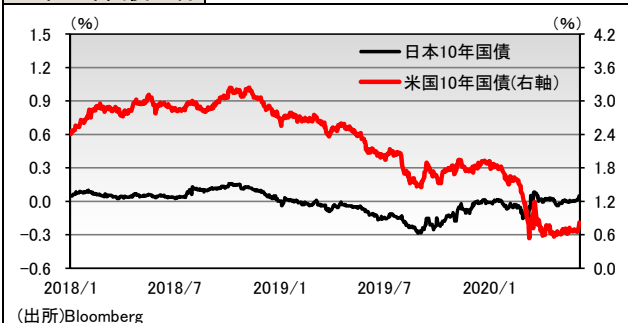
| 米国  | 経済指標        | 期間    | 予測       | 実績       | 判定 |
|-----|-------------|-------|----------|----------|----|
| 6/1 | ISM製造業景況指数  | 5月    | 43.8     | 43.1     | ×  |
| 6/3 | ADP雇用統計     | 5月    | -900.0万件 | -276.0万件 | ○  |
| 6/3 | ISM非製造業景況指数 | 5月    | 44.4     | 45.4     | ○  |
| 6/4 | 新規失業保険申請件数  | 5月30日 | 183.3万件  | 187.7万件  | ×  |
| 6/5 | 非農業部門雇用者数変化 | 5月    | -750.0万件 | 250.9万件  | ○  |

| 中国  | 経済指標           | 期間 | 予測       | 実績       | 判定 |
|-----|----------------|----|----------|----------|----|
| 6/1 | Caixin中国製造業PMI | 5月 | 49.6     | 50.7     | ○  |
| 6/7 | 貿易収支           | 5月 | 414.0億ドル | 629.3億ドル | ○  |

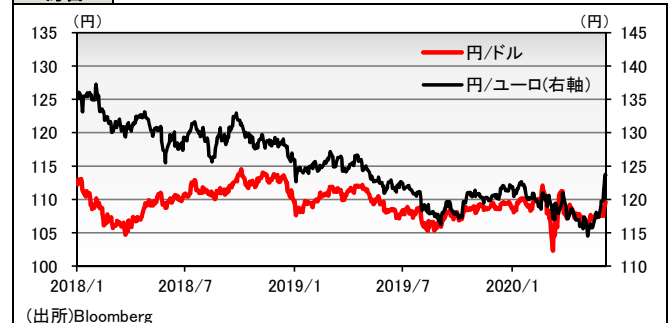
※ 判定は、事前予想よりポジティブであれば ○。

(出所)Bloomberg

### 日米10年国債金利

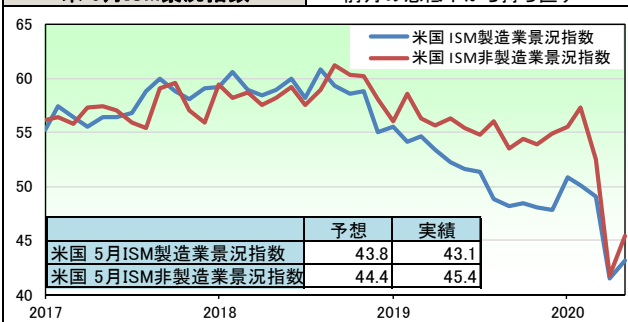


### 為替



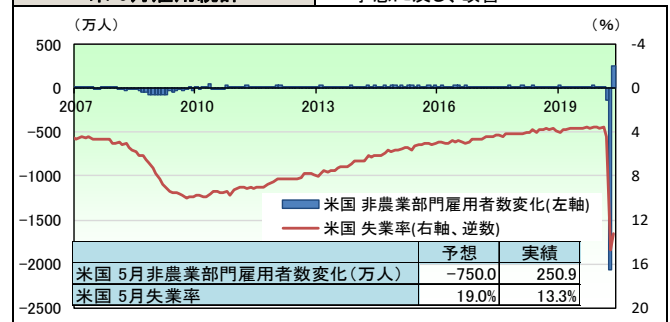
### 米 5月ISM景況指数

～前月の急低下から持ち直す



### 米 5月雇用統計

～予想に反し、改善



### 全米で大規模な抗議デモが発生

～収束の見通しは立たず長期化の懸念も

- アメリカで、黒人男性が白人の警察官に押さえつけられて死亡した事件に対する抗議デモが、各地に広がっている。
- 警官が抗議デモの参加者を負傷させる新たな事件が発生したほか、デモの参加者には人種問題に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大や大量失業に対する不満を訴える者もあり、抗議デモが収束する見通しは立っていない。
- 一部のデモが暴徒化していることを理由に、トランプ米大統領は抗議デモに対して、強硬な姿勢を表明。11月の大統領選挙を控えて、保守層の支持固めも意識しているものと見られ、ここまでの逮捕者は1万人近くに上っている。
- トランプ米大統領の姿勢には、与党・共和党の一部の議員から批判の声が挙がるばかりでなく、マティス前国防長官やケリー元大統領首席補佐官といったトランプ政権の元高官も大統領に反発する異例の事態となっている。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止を理由に、経済活動を制限している都市でも、連日デモが続いていることから、抗議デモが新型コロナウイルスの感染を拡大させる可能性が指摘されている。
- 仮に、抗議デモの拡大および長期化が、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波へと繋がれば、足下では堅調に推移しているマーケットへの悪影響は避けられないだろう。

### <事件発生後の主な出来事>

| 日付    | 内容   |
|-------|--|
| 5月25日 | 米国ミネソタ州で、黒人男性が白人の警察官に押さえつけられて死亡する事件が発生。                                  |
| -     | その様子がSNS上で拡散され、全米規模の抗議デモへと発展。  |
| -     | 一部のデモは暴徒化し、略奪などが発生。外出禁止令を発効する都市が相次ぐ。                                     |
| 6月1日  | トランプ米大統領が暴動の鎮圧に向けて、各州知事に州兵の出動を要請。さらに大統領の指揮下にある連邦軍の派遣も示唆。                 |
| 6月3日  | 事件を起こした警官の容疑が、当初よりも重い罪に切り替わったこと、現場に居た他の警官3名も殺人ほう助及び教唆の容疑で訴追されたことが明らかとなる。 |
| 6月4日  | 米国ニューヨーク州で抗議デモに参加していた高齢男性が警官に突き飛ばされ、負傷する事件が発生。                           |

(出所)各種報道

### 今後の見通し

#### 抗議デモや米中対立の行方を注視

・先週の株式市場は、早期の景気回復期待が支えとなり堅調に推移したが、日米ともに3週連続で株式市場が上昇しており、短期的には過熱感が出ている。中央銀行による流動性供給は続くものの、世界的な外出規制緩和に伴う景気回復期待は既に市場に織り込まれつつあるほか、全米で続く抗議デモや米中対立の激化、新型コロナウイルス感染拡大の第2波に対する懸念が濃っており、市場の行方は慎重に見極める必要があるだろう。

・今週は、重要な経済指標の発表は予定されていないが、9～10日のFOMCが注目される。金融政策の据え置きを見込むものの、先週、欧州中央銀行(ECB)が金融緩和策の強化を決定するなか、FRBがさらなる金融緩和策について言及するか否かが注目される。

※ 現時点での市場見通しを示したものであり、当社の投資方針と必ずしも整合するとは限りません。

※ 本資料は当社が情報提供を目的に作成したものであり、保険募集を目的とするものではありません。

※ データの一部は当社が信用できると判断した情報源より作成しておりますが、正確性・完全性について当社が保証するものではありません。

※ 最終ページのご連絡事項についてよくお読み下さい。

### 今週の注目イベントなど

| 日付   | 国 | イベント                  | 予測値       |
|------|---|-----------------------|-----------|
| 6/8  | 日 | 1-3月期 GDP改定値(前期比年率)   | -2.1%     |
| 6/9  | 米 | 5月 景気ウォッチャー調査(現状/先行き) | 12.1/20.2 |
| 6/9  | 米 | FOMC(～10日)            | -         |
| 6/10 | 日 | 4月 機械受注(船電除民需、前月比)    | -7.5%     |
| 6/10 | 米 | 5月 消費者物価指数(前月比)       | 0.0%      |
| 6/10 | 米 | パウエルFRB議長会見           | -         |
| 6/12 | 米 | 6月 ミシガン大学消費者信頼感指数     | 75.0      |

(出所)Bloomberg等

### 第一生命保険株式会社

お問い合わせ先: 特別勘定運用部  
TEL 050-3780-1007

# 特別勘定特約に関する重要なお知らせ

※本お知らせは保険業法第300条の2に準用される金融商品取引法第37条にもとづき、特別勘定特約に関して表示すべき広告等規制に関して記載するものです。

## 【手数料について】

- ・特別勘定特約に関する手数料(付加保険料)は、当社が引受けるご契約者の年金資産(責任準備金)のうち特別勘定部分の経過責任準備金を各口ランクごとの金額に分け(円貨建株式口は1型・2型を通算)、それぞれに所定の手数料の率を乗じて得た金額の合計額を毎年ご負担いただきます。
- ・以下の手数料率表については、経過責任準備金ランクの上限および下限のみ記載しております。

## ■手数料率表

| ●確定給付企業年金保険<br>●新企業年金保険(Ⅱ)                | 総合口    | 第2<br>総合口 | 第3<br>総合口 | 債券<br>総合口        | 債券<br>総合口ハイブリッド型  | 年金債務<br>対応<br>総合口 | 円貨建<br>公社債口         | 円貨建<br>株式口<br>1型・2型 | 円貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>公社債口           | 外貨建公<br>社債口為<br>替ヘッジ型 | 外貨建<br>株式口         | 外貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>株式口<br>新興国型 | 短期<br>資金口 |
|---|--------|-----------|-----------|------------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----------|
| 手数料上限<br>(1,000万円以下の部分)                   | 0.600% | 0.600%    | 0.700%    | 0.590%           | 0.590%            | 0.640%            | 0.450%              | 0.700%              | 0.400%             | 0.750%                | 0.750%                | 0.800%             | 0.500%             | 0.800%             | 0.050%    |
| 手数料下限<br>(500億円超の部分)                      | 0.220% | 0.220%    | 0.320%    | 0.210%           | 0.210%            | 0.260%            | 0.155%              | 0.230%              | 0.110%             | 0.230%                | 0.230%                | 0.240%             | 0.210%             | 0.240%             | 0.050%    |
| ●厚生年金基金保険                                 | 総合口    | 第2<br>総合口 | 債券<br>総合口 | 債券<br>総合口ハイブリッド型 | 年金債務<br>対応<br>総合口 | 円貨建<br>公社債口       | 円貨建<br>株式口<br>1型・2型 | 円貨建<br>株式口<br>バット型  | 外貨建<br>公社債口        | 外貨建公<br>社債口為<br>替ヘッジ型 | 外貨建<br>株式口            | 外貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>株式口<br>新興国型 | 短期<br>資金口          |           |
| 手数料上限<br>(10億円以下の部分)                      | 0.440% | 0.440%    | 0.430%    | 0.430%           | 0.480%            | 0.330%            | 0.520%              | 0.400%              | 0.550%             | 0.550%                | 0.600%                | 0.500%             | 0.600%             | 0.050%             |           |
| 手数料下限<br>(500億円超の部分)                      | 0.220% | 0.220%    | 0.210%    | 0.210%           | 0.260%            | 0.155%            | 0.230%              | 0.110%              | 0.230%             | 0.230%                | 0.240%                | 0.210%             | 0.240%             | 0.050%             |           |
| ●厚生年金基金保険(Ⅱ)                              | 総合口    | 第2<br>総合口 | 債券<br>総合口 | 債券<br>総合口ハイブリッド型 | 年金債務<br>対応<br>総合口 | 円貨建<br>公社債口       | 円貨建<br>株式口<br>1型・2型 | 円貨建<br>株式口<br>バット型  | 外貨建<br>公社債口        | 外貨建公<br>社債口為<br>替ヘッジ型 | 外貨建<br>株式口            | 外貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>株式口<br>新興国型 | 短期<br>資金口          |           |
| 手数料上限<br>(1,000万円以下の部分)                   | 0.600% | 0.600%    | 0.590%    | 0.590%           | 0.640%            | 0.450%            | 0.700%              | 0.400%              | 0.750%             | 0.750%                | 0.800%                | 0.500%             | 0.800%             | 0.050%             |           |
| 手数料下限<br>(500億円超の部分)                      | 0.220% | 0.220%    | 0.210%    | 0.210%           | 0.260%            | 0.155%            | 0.230%              | 0.110%              | 0.230%             | 0.230%                | 0.240%                | 0.210%             | 0.240%             | 0.050%             |           |
| ●新企業年金保険(「保険料に係る特別な取扱いに関する特約」が適用されている場合)  | 総合口    | 第2<br>総合口 | 第3<br>総合口 | 債券<br>総合口        | 債券<br>総合口ハイブリッド型  | 年金債務<br>対応<br>総合口 | 円貨建<br>公社債口         | 円貨建<br>株式口<br>1型・2型 | 円貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>公社債口           | 外貨建公<br>社債口為<br>替ヘッジ型 | 外貨建<br>株式口         | 外貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>株式口<br>新興国型 | 短期<br>資金口 |
| 手数料上限<br>(1,000万円以下の部分)                   | 0.830% | 0.830%    | 0.930%    | 0.820%           | 0.820%            | 0.870%            | 0.620%              | 0.970%              | 0.400%             | 1.030%                | 1.030%                | 1.120%             | 0.500%             | 1.120%             | 0.050%    |
| 手数料下限<br>(500億円超の部分)                      | 0.220% | 0.220%    | 0.320%    | 0.210%           | 0.210%            | 0.260%            | 0.155%              | 0.230%              | 0.110%             | 0.230%                | 0.230%                | 0.240%             | 0.210%             | 0.240%             | 0.050%    |
| ●新企業年金保険(「保険料に係る特別な取扱いに関する特約」が適用されていない場合) | 総合口    | 第2<br>総合口 | 第3<br>総合口 | 債券<br>総合口        | 債券<br>総合口ハイブリッド型  | 年金債務<br>対応<br>総合口 | 円貨建<br>公社債口         | 円貨建<br>株式口<br>1型・2型 | 円貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>公社債口           | 外貨建公<br>社債口為<br>替ヘッジ型 | 外貨建<br>株式口         | 外貨建<br>株式口<br>バット型 | 外貨建<br>株式口<br>新興国型 | 短期<br>資金口 |
| 手数料上限<br>(1,000万円以下の部分)                   | 0.670% | 0.670%    | 0.770%    | 0.660%           | 0.660%            | 0.710%            | 0.500%              | 0.790%              | 0.360%             | 0.835%                | 0.835%                | 0.910%             | 0.450%             | 0.910%             | 0.045%    |
| 手数料下限<br>(500億円超の部分)                      | 0.180% | 0.180%    | 0.280%    | 0.170%           | 0.170%            | 0.220%            | 0.130%              | 0.190%              | 0.090%             | 0.190%                | 0.190%                | 0.200%             | 0.170%             | 0.200%             | 0.045%    |

※ 手数料=各口の(経過責任準備金の各ランクに当たる金額×所定手数料率)の合計

※ 消費税は別途申し受けます。

※ 上記のほか、資産運用の過程で売買の際に発生する売買委託手数料や、売買委託手数料に関する消費税に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する諸費用を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。

※ 運用効率の観点等から投資信託による運用を行う場合、投資信託に係る信託報酬を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、信託報酬については投資信託の運用会社や投資対象資産によって手数料率が異なる等の理由から、計算方法を表示しておりません。ただし、第2総合口、債券総合口、債券総合口ハイブリッド型および年金債務対応総合口における私募投資信託の手数料については、「ご契約のしおり」をご覧ください。

※ 上記の手数料には、一般勘定(主契約)の付加保険料、制度管理等に係る各種業務委託費、年金数理人費は含まれておりません。

## 【特別勘定特約 第2総合口・債券総合口・債券総合口ハイブリッド型・年金債務対応総合口について】

・第2総合口の投資対象である新興国国債、新興国株式、REIT(不動産投資信託証券)、債券総合口の投資対象である先進国国債(日本含む)、新興国国債、グローバル社債、債券総合口ハイブリッド型の投資対象である先進国国債(日本含む)、新興国国債、および年金債務対応総合口の投資対象である為替ヘッジ外債、グローバル社債、国内株式、外国株式は、私募投資信託を用いて運用を行います。投資対象の詳細については、「ご契約のしおり」および別途資料にてご案内申し上げます。

・年金債務対応総合口において想定する年金債務は、当社設定の標準的な企業年金の負債属性を前提にしており、お客さま個々の年金債務と必ずしも一致するものではありません。

## 【損失発生リスクとその発生理由】

・特別勘定特約は、一般勘定(主契約)の責任準備金(保険料積立金)の一部を特別勘定で運用し、この運用実績を直接、責任準備金(保険料積立金)に反映させる仕組みの商品です。

・特別勘定は、国内外の公社債、株式等を運用対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価値の下落」等といった投資対象資産の価格下落リスクは責任準備金(保険料積立金)の下落要因となります。資産運用の結果は、その損失も含めてご契約者に帰属します。経済情勢や運用成果のいかんにより高い収益を期待できる反面、元本(特別勘定に投入された保険料の合計額)の保証はなく、運用実績が元本を下回ることがあり、損失を生じる可能性があります。

## 【ご留意事項】

・特別勘定における資産運用の成果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。

・特別勘定での運用はご契約者が特別勘定の特徴を十分理解した上で、ご契約者の判断と責任において行っていただく必要があります。

第一生命保険株式会社  
東京都千代田区有楽町1-13-1  
電話 03(3216)1211(大代表)